



よほろ

舞鶴市立与保呂小学校
学校だより
4月号
令和2年4月8日

令和2年度のスタートにあたって

新年度をスタートする子どもたちをお祝いしてくれるかのように、与保呂川の桜も満開となり、春本番を迎える頃となりました。この春、子どもたちはいつもの春以上に「早く学校が始まらないかな」と待ち望んでいたのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日からの臨時休業に対しまして、保護者・地域の皆様には、ご理解・ご配慮いただいておりますこと、ありがとうございます。学校は再開し、新年度のスタートを切ることができましたが、依然として予断を許さない状況にあります。子どもたちの安全や命を守るため、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

そんな中ですが、9日には、令和になって初めての入学式において、新しく始まる小学校生活に胸を膨らませている18名の新1年生を迎え、与保呂小学校全校児童138名でスタートいたします。

本年度、本校では、次のような教育目標を掲げ、実践に取り組んでいきます。



令和2年度 与保呂小学校の教育

教育目標 「世界に目をむけ たくましく生きる子」の育成
目指す子ども像 【知】自ら学び考える子 【徳・体】生命を大切にする子
学校経営テーマ

「今日も学校へ来てよかった。明日もまた学校へ来たい。」と思える学校の創造
～つながり、認め合い、ともに高まる活動を通して～

- 一人一人の良さを認め合い、安心して学ぶことのできる学校
- 質の高い学力をはぐくむ学校
- たくましく健やかな心と身体をはぐくむ学校
- 家庭・地域の信頼に応える学校

本日8日の始業式では、子どもたちに東井義雄さんの『心のスイッチ』の詩を紹介しました。新しい1年のスタートである今日を「心のスイッチ」が入る日にし、スイッチが入ったら、次は、自分の足で歩き出して、一歩ずつ自分のペースで歩み続けてほしいと話しました。一生懸命に「なりたい」自分を実現してほしいと願っています。

私たち教職員は、子どもたちの思いをしっかりと受け止め、子ども自身が「今日も学校へ来てよかった。明日もまた来たい。」と思える学校をつくっていかねばならないと考えています。一人一人が大切にされ、人とのつながりややりがいを感じ、安心して学べる環境づくりをすることで、保護者や地域の皆様に信頼される学校となるよう努めてまいります。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には本年度も、なお一層のご理解・ご協力をお願い申しあげまして、年度始めのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 西井佳寿美
教職員 一同

登校にあたってお願い

子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができますよう、毎朝、各ご家庭で健康観察をしてから登校させてください。

検温をし、風邪症状がないかをご確認いただき、発熱等の症状がみられるときには無理に登校せず、自宅で休養していただくよう、お願いいたします。

